

はだの 農業委員会だより

第124号
平成27年12月発行

編集・発行
秦野市農業委員会
〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号
TEL 0463-82-9654
E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp

おぼえて いますか たばこの花

たばこの花は、立派な葉たばこを育てるため、養分が葉に十分いきわたるように摘まれてしまい、見られる機会は少ないものでした。



おもな内容

- | | | | |
|----------------------|---|-------------------|---|
| ■ 建議書を市長に提出ほか ----- | 2 | ■ 農家の声 ----- | 6 |
| ■ 改正委員会法が成立ほか ----- | 3 | ■ 相談コーナーほか ----- | 7 |
| ■ 農地ナビで農地情報を公開 ----- | 4 | ■ カメラスケッチほか ----- | 8 |
| ■ 農業委員紹介コーナー ----- | 5 | | |

「平成28年度秦野市農林業施策並びに予算に関する建議書」を市長に提出

8月11日、秦野市農業委員会が、「平成28年度秦野市農林業施策並びに予算に関する建議書」を、秦野市長に提出しました。この建議は、農業者の意見や考えを市政に反映できるよう、農業委員を通じて農家の皆様から寄せられた意見・要望を取りまとめたものです。当日は、鳥海会長をはじめとする運営委員が出席しました。

建議の内容

一 農地の保全・有効利用 対策について

荒廃・遊休農地は増加する傾向にあるが、将来に向かって優良農地として確保・保全し有効利用が図られるよう7

件の施策を要望。

● 荒廃・遊休農地の発生防止及びその解消に向け、積極的な取り組みを行うこと。

● 荒廃・遊休農地対策として、これらを積極的に活用した施策を実施し、農地の確保と有効利用を図ること。

● 耕地・農道整備を行い、耕



建議書を手渡す鳥海会長（右）と古谷市長（左）

作可能な環境を整えることなど。

二 担い手・経営対策について

農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しているが、状況の変化に柔軟に対応し、担い手確保対策と農業経営の安定のため、3件の施策を要望。

● 認定農業者に対して、支援の拡充を図ること。

● 女性農業者の拡大を図るため支援体制を確立することなど。

三 地域の活性化対策について

地域の特色を生かした農業振興と、生産者を身近に感じられる地産地消の推進など、秦野らしい農業を実現するため、6件の施策を要望。

● 「秦野市農産物ブランド化推進事業」について、その農産物の普及や生産者をPRするとともに、技術的、財政的支援を行うこと。

● 安全で新鮮な地場農産物を消費者に供給するため、直売

所の整備、充実が図れるよう支援を行うこと。など。

四 有害鳥獣対策について

有害鳥獣の撲滅に向けた対策を講じるよう5件の施策を要望。

● 農業者が個別に鳥獣害防止策がとれるよう、その設置費用について助成を行うこと。

● 駆除について迅速な対応を行うとともに、被害軽減に向けた調査研究を行うこと。など。

五 その他

その他3件の施策を要望。

● 農業委員会事務局長と農産課長の兼務について、農業委員会の独立性を確保し、本来の業務が損なわれることのないよう、十分留意すること。

● 原発事故による放射能汚染や風評被害の早期解決と原状回復を国、県に働きかけること。など。

新委員選任される

議会推薦の委員については、10月1日付けで新委員が選任されました。和田厚行委員は引続き選任され、風間正子委員に代わり小菅基司委員が選任されました。



小菅 基司
議会推薦
春日町 5-42
☎ 88-2057

右から、草山委員、古宮委員、山口委員、鳥海会長、古谷市長、北村職務代理者、松下委員、小山田委員、小宮委員、谷屋委員

改正農業委員会法が成立

農業委員の選出方法が公選から選任に

農業委員会法・農協法・農地法の一部を改正する「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案」が8月28日に可決・成立し、9月4日に公布されました。これにより、農業委員会法が改正されます。

農業委員の選出方法は、今までの公選制から市町村長の選任制に改められ、農業委員

の過半数が、原則として認定農業者となります。

新設される農地利用最適化推進委員は、農地利用の集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消などに取組みます。

この改正による経過措置として、施行日（平成28年4月1日）以後に任期が満了する場合は、任期満了日まで現委員が在任することとなります。

つまり、秦野市農業委員会

の現委員は、任期が満了する平成30年6月20日までは、委員に在任となります。

そのほか、神奈川県農業会議、全国農業会議所は、農業委員会ネットワーク機構へ移行し、農業委員会のネットワーク組織としての機能が強化されます。

中地方農業委員会連合会 新任農業委員研修会開催

9月10日に、秦野市文化会館で、中地方農業委員会連合会（秦野市、平塚市、伊勢原市、大磯町、二宮町の各農業委員会）が、新任農業委員の研修会を開催しました。今回出席した委員は、秦野市と、伊勢原市、大磯町の各農業委員会の委員です。

農業会議職員が講義を行いました。

出席した委員は、委員としての責務を果たそうと決意を新たにされつつ、熱心に聴いていました。



研修会を始めるにあたり、あいさつをする鳥海会長。

農業委員の選出方法の変更

- 市町村長からの選任制
- 地域等からの推薦・公募を実施
- 市町村議会の同意
- 過半が認定農業者
- 利害関係のない者が1人以上
- 年齢・性別に配慮
- 委員数を半分程度に縮減

農地利用最適化推進委員の新設

- 農地利用最適化に向けた推進活動を実施
- 農業委員会が区域ごとに委嘱
- 区域からの推薦・公募を実施



神奈川農業会議 賛助会費のご協力をお願いします

神奈川県農業会議では、農業に携わる農業者の声を国や県の農業施策に反映し、農業者の皆さんが安心して農業経営を継続できるよう、また、農業委員会法が改正され農業委員会などの制度が見直され

るなか、より一層の農政対策活動を展開していきます。

この活動に賛同してくださる農家の皆さんに会費の協力をお願いします。

会員費は、1戸当たり500円です。

農業委員紹介コーナー

議席順

小宮忠義（公選・上地区）



● 役職

運営委員

● 担当生産組合

柳川第一・柳川第二・八沢

● 主な作付作物

茶・露地野菜

● ひとこと

鳥獣被害、進入路がなく農作業機械が入らないなどにより、農業の意欲が減退し、荒廃農地が増えています。そのため、後継者もいなくなってきましたが、少しでも改善できるように頑張っています。



松下勲男（公選・本町地区）



● 役職

運営委員

● 担当生産組合

上乳牛・本乳牛・乳牛振

興・乳牛・曾屋・山谷・御

● 主な作付作物

露地野菜

● ひとこと

最近、新聞記事などを見ると、農業を取り巻く環境が大きく変わろうとしているように思います。TPPを始め、生産拡大、所得拡大など。もっと楽に農業者が利益の出る政策を考えて貰いたいものです。そうなるよう尽力していきたいと思っています。

三川吉次（公選・本町地区）



● 役職

編集委員

● 担当生産組合

河原町・才ヶ分・上大槻・

中里・東南・中野

● 主な作付作物

ミカン・露地野菜

● ひとこと

農業従事者の高齢化で農地が荒廃化し、有害獣の住処になることが多く、作物の被害が増える悪循環になっているので、荒廃地を増やさないと、荒廃地を増やさないように努めていきたい。

草山美恵子（議会推薦）



● 役職

運営委員

● 主な作付作物

露地野菜・落花生

● ひとこと

農業は天候に左右され、何年作っていても日々勉強。作物を一生懸命育てて収穫を得るときは、最高の喜びを味わいます。多種類の野菜を作り、新鮮な食材を子供達、友達に分け合い、少しでも皆様の役に立てればと努力してきましたと思っています。

飯塚和彦（公選・西地区）



● 担当生産組合

堀川上・堀川中・堀川下・

森戸・黒木・欠畑・波多川・

沼代

● 主な作付作物

露地野菜・菊

● ひとこと

農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化、後継者不足と非常に厳しい状況にあります。また、鳥獣被害による作付意欲の低下による荒廃遊休農地が増加しております。以上の現状を鑑みて、観光農業のさらなる充実拡大と、地域の特性を生かした品目の生産振興と産地づくり、後継者の育成等、市、農協等との連携と力をお借りして農業者の営農意欲の喚起と支援機能の発揮に努力します。

全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

- 毎週金曜日発行
- 購読料 月700円
- お申し込みは、地元農業委員、または農業委員会事務局まで。

事務局 82-9654

農家の声



山間の農家

古屋 節子（渋沢）



私の住んでいる渋沢峠地区は山に囲まれ四季折々の美しい景色を見せてくれる所です。渋沢丘陵に立てば丹沢の麓から広がる秦野盆地が見られ絶景です。

私は、会社員だった主人が定年退職してから農業に就きました。両親が農業をしていましたので、土地はあったものの高齢、病気などで荒廃地となっていました。主人はコツコツと耕し畑に戻し、自分たちで食べる野菜は作ろうと言い出し、私も子供や孫たちに新鮮で無農薬のものを食べさせたいと思い、作ってみようと思った。色々な野菜

菜を作り始めましたが、知識も経験もないなか、良い物は作れません。試行錯誤を繰り返し、地区の人たちの話を聞き、野菜の専門誌を読み、前向きに進みました。農業大好きな主人中心の仕事で私は補助役です。大変な時もありますが、畑の中を吹く風の気持ち良さ、周りの景色に癒されています。今では、じばさんずに出荷しています。主にそら豆、さつま芋、里芋、その他色々です。楽しいです。

峠地区の土壌は良く、品質の良い物が収穫できると聞きました。この野菜を無駄なく活用するために漬物（峠漬）が始まり、農協、普及所等の指導の下、峠生活グループが発足しました。40年近く経ちますが、皆和気あいあいと作業に取り組んでいます。初めは野菜の持ち寄りでしたが、だんだん販路も広がり、地区の野菜を買い上げるようにな

りました。みつば、大根、なす、きゅうり、人参の5種類です。一部、他の地区からの買い上げもあります。秦野特産物や観光協会推奨品となり、じばさんず、特産センター、イベント等に出荷しています。塩漬から酒粕漬へと3回から4回漬け替えます。高齢化が進み、暑い時や寒い

農業を継いで

伊奈 知信（下大槻）



時の漬け込み、漬物石の重たさ、だんだん重労働になり、会員も発足当時から半数程少なくなりました。現在は15名で作業をしています。この先は縮小傾向になります。私も高齢者となり、いつまでできるか分かりませんが、美味しい野菜を作っていたいと思います。

ら、ゆっくり将来のことを考えなよ。」そんな言葉に励まされ、農家としての毎日が始まりました。先日まではパソコンにとらめつこをしていた自分が、外で野菜を育てるという変化に戸惑いを覚えたことはあります。しかし、自分も社会人なのだからと心の中で言い聞かせつつ、家族のみなどと同じように帽子をかぶり、手拭いを首にかけて畑へと出陣する毎日でした。

新規就農をして今年で3年目。かながわ農業アカデミーを卒業して、すぐのことです。相模原でシステムエンジニアの卵として就職が決まったものの、体調不良が原因で自分の殻を破る前にあえなく終わったのが8年前。当時、これからのことで悩んでいた時に支えとなってくれたのは、紛れもない家族でした。「家の手伝いをしなが

上司として接し、私自身もまた教わる立場としてその状況を受け入れていました。母もまた家事に追われつつも、1人の農家として、家族を支える者としての責務をこなしています。

家にはトマト温室がありませんが、毎年のように黄化葉巻を中心とした病気には頭を抱えています。こまめな薬散や周辺の草刈りを欠かさず続け、出来る限りコナジラミやヨトウ虫の発生を抑えなければなりません。トマトは我が家にとつての主戦力の野菜なので、手を抜くことは許されないので。さらに、落花生にはハクビシンやアライグマ。これらに対しては檻でできた罠を用意し、わずかなりとも駆除しなければなりません。

新規就農後も、やはり家族の力を借りつつ、どうか1人の農家として地道に勉強と経験を重ねている毎日です。そんな日々も、今では本当にやりがいのある仕事だと自負しています。



Q 農業者年金の仕組みや長所はどんなものですか。

A 農業者年金が、他の年金の制度と一番違うところは、加入者が積立された保険料とその運用益の額により将来受取る年金額が事後的に決まる確定拠出型の積立方式を採用している点です。保険料を支払っている方の人数や年金を受給している人数がどう変化しても、その影響を受けない財政的に安定した、少子高齢化時代でも安心できる制度です。

加入資格は、60歳未満の国民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事している方であれば、農地を所有していない農業者や、配偶者、後継者などの家族農業従事者でも加入できます。

保険料は、月額2万円から6万7千円の間で、千円単位で

加入者が自由に選択でき、いつでも見直すことができます。

税制面の長所は、その年に支払った保険料の全額が所得税・住民税の社会保険料控除の対象となり全額控除になるので、その分、課税対象所得が下がり、税金が減額されます。

また、一定の要件を満たす担い手には、保険料の国庫補助が

受けられます。

国民年金だけでは生活費が不足すると想定されている昨今、安心で豊かな老後生活を迎えるための選択肢の一つとして農業者年金を検討してはいかがでしょうか。

詳しくは、農業委員会事務局、またはJAはだの営農課へお問合せください。

農業委員会活動報告

(平成27年7月～10月)

●総会

7月24日、8月25日、10月1日、10月26日

(主な審議案件と件数等は下表のとおり)

●運営委員会

7月8日、8月11日、9月14日、10月14日

●編集委員会

7月8日、10月1日、10月26日

●中地方農業委員会連合会

●新任農業委員研修会

9月10日

■総会の主な審議案件と件数(7～10月)

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸(3条許可)	5件	8,783.22㎡
市街化調整区域内の転用(4・5条許可)	6件	4,712.40㎡
市街化区域内の転用(4・5条届出)	77件	30,631.91㎡
相続税納税猶予	4件	22,754.78㎡

支援センター

「市民の日」に出店

11月3日に開催された第36回秦野市市民の日に、荒廃農地解消市民ボランティアの会と協働して行っている荒廃農地解消事業のPRのため出店しました。

パネル展示で荒廃農地解消事業活動を説明し、ボランティア参加を呼びかけました。また、復元した農地で栽培したサツマイモやその加工品を販売しました。



農業委員会委員選挙人名簿登載申請手続きはなくなりましした

毎年1月に提出をお願いしていた農業委員会委員選挙人名簿登録申請書ですが、農業委員会法が改正され、農業委員の選出方法が公選制から選任制に変更されることにより、この手続きは、来年からありません。今まで御協力ありがとうございました。

カメラスクetch



市役所での「葉たばこ」の展示

たばこ祭で「葉たばこ」の展示

9月26日、27日に第68回秦野たばこ祭が盛大に開催されました。たばこの歴史やたばこ祭の由来などは他に譲るとして、このコーナーで紹介したいのは、「葉たばこ」の展示です。

今では見られなくなった「葉たばこ」ですが、毎年、たばこ祭の1週間ほど前から当日まで展示されています。「葉たばこ」は、市役所本庁舎1階、秦野駅改札前、秦野駅北口にあるグランドホテル神奈中1階などに展示されています。また、本町公民館では、「葉たばこ」だけでなく、耕作当時の写真や農機具等が展示されています。

表紙の写真は、このとき展示されていた「葉たばこ」を撮影したものです。たばこ祭を楽しんでいただくのはもちろんですが、少したばこを懐かしんでみてはいかがでしょうか。来年のたばこ祭で、どうぞご覧ください。

畜産まつり開催

10月4日に、秦野市畜産まつり（主催：秦野市畜産会）が、田原ふるさと公園で開催されました。当日は晴天に恵まれ、大勢の方が来場する大盛況ぶりでした。用意した豚肉バーベキューや豚汁、牛乳試飲などは、午前10時に始まったにもかかわらず、正午前にはすべて完売しました。

小動物（子羊・子牛）ふれあいコーナーや乗馬体験（ポニー）は子供たちに人気でしたが、動物が怖くて泣き出す子も見られました。

同時開催の畜産共進会は、今年で59回を迎えました。出品された家畜はどれも優秀で甲乙付け難く、審査は難航したとのことでした。

詳しくは
はだの都市農業支援センター
（☎81-7800）
にお問合せ下さい。



(右上) 初めて見る子牛にビックリ！でも、負けずににらめっこ！！
(左上) ブラッシングが終わるまで動かないで！
(左) 「乳牛の部」の審査の様子

農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は、確定拠出型の年金で、次の長所があります。

- 年金額が加入者数・受給者数に影響されない。
- 保険料は全額控除対象。
- 保険料の国庫補助（一定の要件が必要）。



お問合せ

農業委員会事務局
JAはだの営農課

☎82-9654

☎81-7718

（編集委員長 古谷 保）
本号の表紙は、懐かしい「たばこの花」です。私の小中学生時代は、たばこ栽培が盛んで、我が家でも耕作をしていました。大変懐かしく感じているところです。皆様方はいかがだったでしょうか。今年も、もう少しで終わりますが、来年の作付を思案している今日この頃です。

編集後記